



長崎明誠高等学校だより

ことのかぜ

令和6年度

第1号

2024.7.3発行

長崎県立長崎明誠高等学校

〒851-3101 長崎市西海町1854番地

TEL 095-884-2543 FAX 095-884-3562

ホームページ <http://www2.news.ed.jp/section/meisei-h/>

<http://www.news.ed.jp/meisei-h/>

メールアドレス meisei-h@news.ed.jp



「彩虹く青春よ輝けく」

長崎明誠高等学校長 岩橋英夫

光陰矢の如し、二〇二四（令和六）年も半年が過ぎ、年明けに「能登半島地震」「羽田空港航空機事故」という衝撃的な災害、事故が発生したことも、過去の遠い出来事のように思われます。災害や事故は他人事ではなく、いつどこでも起こり得るものであることを肝に銘じ、日常の危機管理意識を高め、大切な命を守ることに、そして「当たり前の日常生活」を送れることに感謝することを忘れてはなりません。改めて、お亡くなりになられた方に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます、被災地の一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

また、私事です。今年で六十歳を迎え「還暦・年男」となります。縁起が良い年であると前向きに捉え、長崎明誠高校の舵取り役として、生徒の皆さんの「夢の実現」に向けて全力でサポートしていく所存であります。どうぞよろしくお願い致します。

さて、令和六年度が始まり、四月に行われた新入生一・二・三名を迎えての入学式は、多くの御来賓の皆様の御出席のもと開催されるとともに、二・三年生は上級生として新たなスタートを切っております。新入生研修や部活動入部集会、各種健康診断や学級役員任命式、残念ながら歓迎遠足は雨中での実施となりましたが、年度当初の行事も無事に終えることが出来ました。

五月三十一日には総合開会式を皮切りに、県高総体が県内各地で開催され、本校からは十競技、一四二名の選手が出場しました。

総合開会式では、フッカードの松尾結菜さん、旗手の河内栄樹君を先頭に三十四名が心を一つにして行進し、「長崎明誠」を力強くアピールしてくれました。また、競技においては、選手たちが日々の練習で培った力と技を存分に発揮し、悔いの残らぬよう最後まで諦めずに戦ってくれました。

柔道競技女子団体での十六大会連続優勝や個人戦全階級での優勝をはじめ、ローイング（ボート）競技シングルスカル男子で優勝、女子で準優勝を飾り、今夏、北部九州で開催されるインターハイへの出場を決めました。柔道競技が大分市、ローイング競技は諫早市の本明川で開催されます。機会がありましたら、本校出場選手へ暖かい声援を送っていただければ幸いです。

最後になりますが、「ことのかぜ第一号」発刊にあたり、令和六年度の意気込みを示したいと思います。

校訓「自主・自律」、本年度学校スローガン「彩虹（さいこう）く青春よ輝けく」のもと、全校生徒三八八名、みんなで力をあわせて、虹のように美しく最高に輝く学舎をめざそう！

一年生入学

四月八日、本校体育館で令和六年度入学式が行われました。一・二・三名の入学が許可され、新入生を代表して中山祐嘉さんが新入生宣誓を行いました。



入学したその週に、長崎明誠高等学校の生徒としての心構えを持ち、生活行動の規範を身につけることやクラスメイト・教師との親睦を図ることを目的として、二日間校内研修を行いました。クラスワークではクラス目標を皆で考えて作成しました。

（一組）絆く心を一つに、
（二組）BIG BANG DREAM
く夢に向かって共に進もう、
（三組）一致団結
（四組）努力夢現

最後は、集団行動発表会と校歌コンクールを行い、クラスごとに練習の成果を披露しました。



7月後半～8月の行事予定

7月
17日(水) 球技大会(～18日)
バス路線別集会
19日(金) 全校集会 アルバイト希望者集会
インターハイ等壮行式
20日(土) 夏季休業(～8/22)
22日(月) 夏季補習前期(～31日)
24日(水) オープンスクール

8月
1日(木) 夏期特別学習会(3年)(～7日)
9日(金) 登校日 平和学習
10日(土) 学校閉庁日(～15日)
16日(金) 夏季補習後期(～22日)
17日(土) 土曜講座 小論文模試(3年)
23日(金) 全校集会 表彰伝達式
24日(土) PTA校内除草作業

オープンスクール 7/24(水)
9:00～ 受付
9:30～ 学校説明・体験授業
11:15～ 部活動見学(自由参加)

歓迎遠足

四月二十六日、歓迎遠足で「さくら里」に行きました。対面式では一年四組の中平紫月さんが挨拶をしました。

しかし、到着してすぐに雨が降ってきたため、生徒会の企画を実施することができず、遠足自体も帰路につくこととなりました。残念な結果に終わりましたが、目的までの道中で、新しい友達と話す機会もあり、クラス・学年での仲を深めることができました。



《高総体を終えて》各部主将より

バレーボール部（佐藤 美咲）

一回戦で松浦高校と対戦し、一セット目一四―二五 二セット目二五―一九 三セット目二七―二五 セットカウント二―二で負けてしまいました。二日目まで勝ち進むという目標は達成することが出来なかったけど、一点一点喜び、何度も自分たちの流れに持っていけていたので良かったです。三年生が引退しても明るいバレー部なのは変わらないのでこれからも応援よろしく願います。

バスケットボール部男子（河内 栄樹）

高総体を通して、悔いが残った三年生がほとんどだと思います。でも、最後まで部員全員で戦うことができました。この悔しさを忘れずに、一・二年生には目標である県ベスト八を達成してほしいです。また、ウィンターカップ予選に残る三年生もいるのでその試合では悔いが残らないようにしてほしいです。引き続きバスケット部の応援をよろしく願います。

バスケットボール部女子（松尾 結菜）

私たちは、一回戦で大村高校と対戦し、三三―一〇三で負けてしまいました。二Qの途中で一人けがをしてしまい、また一人けがをしてしまい、三人で三Qまでし、四Qでは四人で戦いました。とてもきつかったけど、楽しかったです。私たちの目標であった一回戦突破はできなかったけど、五人全員であきらめずに試合ができたのでよかったです。応援ありがとうございました。

卓球部（豊田 七之輔）

気が付けば、高総体は終わり、中学から励んだ卓球を引退すると思うと少しだけ寂しさを感じます。立候補してなった主将という立場も誇れるほどのものにはできませんでしたが、日々部員と楽しんで球を交わすことができてよかったと思います。これから新体制となりますが、後輩たちにも楽しみながら卓球に励んでほしいです。最後まで支えてくださった方々に心から感謝いたします。ありがとうございました！

サッカー部（山井 翔稀）

こんにちは、私たちサッカー部です。私たちは、一回戦で敗退してしまいましたが、この負けから得たものは大きかったと思います。この悔しさをバネに選手権に向けてチームでハードワークして長い冬にしたいと思います。

ソフトテニス部男子（山田 遙斗）

六月一日に行われた団体戦では一回戦敗退となってしまい残念な結果に終わりました。また、二日と三日の個人戦では一ペアが二回戦で惜しくも負けました。最後の高総体で良い結果ではありませんでしたが一・二人が全力で頑張れたので良かったです。部員が少ない中、練習を支えてくれた保護者と顧問の先生に感謝しています。ありがとうございました。

ソフトテニス部女子（高口 月埜）

私たちは六月一日から六月四日に行われた団体戦と個人戦に出場しました。団体戦は諫早高校と対戦し二―二で一回戦敗退、個人戦は全ペア一回戦敗退となりました。悔しい結果となりましたが、一人一人が最後までボールを追いかけることができました。来年の高総体では自分のベストを尽くし、後悔のない試合が出来るように日々の練習に励みたいと思います。応援ありがとうございました。

弓道部男子（山内 豊就）

弓道部は五人立の団体戦に三年一名、二年一名、一年二名で臨みました。一年生は入部から二ヶ月経たない状態でしたが、部員数が少ないため一年生にも頑張ってもらいました。三年の私もチームを引っ張ろうと奮闘しましたが結果及ばず、予選敗退で終わってしまいました。とても悔しく、ここで引退したくない、もっと弓道を続けたいと涙が出ました。一・二年生にはこの高総体での悔しさをバネに中村先生、山口先生のご指導のもと、己に厳しく日々の練習を重ね、上を目指して精進して欲しいです。

弓道部女子（深堀 茜）

女子弓道部は、予選突破を目指していましたが団体二十三位と悔しい結果に終わりました。しかし選手一人一人がベストを尽くして頑張れたと思います。最後の試合で最後まで三年生五人で立てて良かったです。今まで支えてくださった先生方や保護者の方々、本当にありがとうございました。一・二年生には、高総体での悔しい経験を活かしてこれからの練習に励んで欲しいです。

柔道部（近藤 杏樹）

今回の高総体みんなベストを尽くしていたと思います。団体は三―〇で圧勝でき個人戦では全階級取ることができ、一安心です。私たちはまだ九州大会インターハイが残っています。ここで終わりではなくこれから勝負なので日本一になれるようまだまだ頑張っています。

バドミントン部男子（池田 祐成）

六月一日にあった団体戦は二回戦目で瓊浦高校に当たり負けてしまいましたが、みんな全力を尽くして戦えていたと思います。二日目と三日目にあった個人戦はこの試合も接戦でした。私は全ての試合楽しむことができ、悔いなく終わることができました！

バドミントン部女子（冨永 遥菜）

団体戦一回戦目に佐世保高専と対戦し、三―〇で勝利し、二回戦目に長崎商業に〇―三で負けてしまいました。ダブルス戦・シングルス戦でも皆それぞれベストを尽くして頑張りました。団体戦一回戦を突破という目標を達成することができて良かったです。仲間と協力し合って戦うことができました。これから新チームになって大変なこともあると思いますが応援よろしく願います。

ボート部男子（香田 竜成）

高総体を振り返って、勝ち進めることの難しさを特に感じた大会でした。僕自身はシングルスカルで優勝しインターハイ、九州大会の出場権を獲得しましたが、クオドルブルがいつもの力を発揮できず予選敗退に終わりました。それでも、去年の高総体から今までやってきたことは間違っていないと思うので、今の練習よりさらに一人ひとりの意識を高め練習の質を上げて来年こそは総合優勝して優勝旗を持って帰ってきます！二日間応援ありがとうございました。

ボート部女子（土橋 杏菜）

優勝は叶いませんでしたでしたが、目標としていたインターハイ出場権を獲得することができてとても嬉しかったです。まだまだ改善点がたくさんあるのでこれからの練習で一つ一つ直していき、頂いたチャンスを無駄にせず満足できる形でレースを終えられるよう最後まで全力で頑張ります！

陸上競技部（増本 龍湖）

高総体では、今まで何年も陸上を続けてきた中で、本当に走ることを楽しむことができました。記録の伸びが感じられず、焦りなどで落ち込んでいた時もありましたが、応援やアドバイスをくれた皆さんや、励ましてくれた陸上部のみんなのおかげでここまで来ることができました。決して満足できる結果には至りませんでしたが、ベストを尽くして頑張ることができました。今まで本当にありがとうございました。陸上Loveー！

行事等の学校の様子は本校のホームページでも公開しています。ぜひご覧くださーい！